

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

| | |
|----------|------------|
| 園名 | 大丸ゆうし保育園 |
| 活動日時 | 2025年1月28日 |
| クラス名(年齢) | ぶどう組(5歳児) |
| 年間テーマ | 自然 |

1. 活動のテーマ

<テーマ>

園庭の自然物を使って② ～散策して発見する～

<テーマの設定理由(子どもの姿)>

・色々な気付きや発見をするのが得意な年長さん。もっと大きく見える拡大鏡を用意する事で子ども達の見える世界が広がるのではないかと思い活動に設定する。

2. 活動スケジュール

- ・拡大鏡を持って園庭を散策する。
- ・拡大鏡を通して見る事で、いつもとは違う景色を観察できる。

3. 活動のために準備した素材や道具、環境設定

- ・拡大鏡

4. 探究活動の実践

<活動の内容>

- ・拡大鏡を持って園庭を散策する。
- ・拡大鏡を使う事で、いつもとはちがう景色を見る事ができ、色々な発見をする。

<活動中の子どもの姿・声、子ども同士や保育者との関わり>

| 子どもの言葉・姿 | 写真 |
|--|---|
| <p>・拡大鏡を見て「いつもの虫眼鏡とちがう」とワクワクが広がり、「ちょっと洋服見せて」と友達の洋服を覗き込み「なんか細かくなってるよ。これなんだろう」といつもは見えない部分が見えることで問いが生まれていた。</p> <p>『なんだと思う?』と聞いてみると「ん～糸かな」と糸で作られていることに気付いていた。</p> <p>「他のところも探しに行ってみる」とみかんの木や畑、葉っぱにあててみると「なんか模様がある」、「虫が大きく見えて、顔がわかる」等発見していた。</p> |  |

5. 振り返り <振り返りによって得た保育者の気づき>

拡大鏡を使うことでいつも見ている景色が別世界に見えるようで、普段遊んでいる園庭だが、じっくりと周りを見渡しながらか探索している姿が見られた。また拡大してみると、木の皮の表面のでこぼこや葉っぱの模様など、普段気付かないようなところに気付いている子もいた。虫を見つけて観察している子は、「ありの目が見えた」「笑ってるみたい」と表情まで観察し共有している子もいて、動植物への興味がより広がっているように感じた。